

第48回「KOB E工学サミット」開催案内
－ IoT (Internet of Things) －

日時：平成30年1月29日(月) 14:00～18:00

場所：神戸大学 工学研究科内 C2-101 (予定)

挨拶：大学院工学研究科 工学研究科長 富山 明男

司会：大学院システム情報学研究科 計算科学専攻 陰山 聡

◎ 講演会

講演1 (14:10～15:10) 工学研究科 電気電子工学専攻 塚本 昌彦 先生

「タイトル：ウェアラブル IoT の動向と将来」

講演2 (15:10～16:10) システム情報学研究科 計算科学専攻 中村 匡秀 先生

「タイトル：IoT が拓く超スマート社会」

休憩・移動 16:10～16:30

◎ 見学会 (16:30～17:00)

場所：塚本・寺田研究室と中村研究室

◎ 科学技術交流会 (17:10～18:00)

会場：工学部「学生ホール」AMEC3

挨拶：大学院システム情報学研究科 システム情報学研究科長 玉置 久

司会：大学院システム情報学研究科 計算科学専攻 陰山 聡

参加費：(正会員企業・学会会員＝無料) 一般参加者 1,000円

第 48 回 KOBE工学サミット 講演概要

講演題目	ウェアラブル IoT の動向と将来
講演者	塚本昌彦
講演者略歴	1987 年京都大学数理工学科卒、1989 年京都大学大学院工学研究科応用システム科学専攻修士課程修了、1989～1995 年シャープ株式会社、1995 年～2004 年大阪大学工学部講師、助教授、2004 年より現職。工学博士。NPO ウェアラブルコンピュータ研究開発機構理事長、NPO 日本ウェアラブルデバイスユーザー会会長。2001 年より日頃から HMD を着用し日常生活で利用している。
研究分野	ウェアラブルコンピューティング、ユビキタスコンピューティング (IoT)
<p>概要:</p> <p>ウェアラブルコンピューティングと IoT が急に注目されるようになってきている。コンピュータが小型高性能化し、通信やセンサ技術が急激に進歩しているのに加え、クラウドにデータを蓄積し、統計的手法や AI などを用いて大量データの高度な分析が可能になってきているため、両者を用いて実世界の人間活動の様々な側面を支援したり、革新したりできるようになってきたことが大きな要因となっている。本講演ではこれらの分野の動向について解説を行う。あわせて、この分野の立ち上げに向けて 10 年以上にわたって研究開発を行っている講演者の研究室の取り組みを紹介し、今後の展望を 10 個の予言という形で述べる。</p> <p>アピールする点:</p> <p>ウェアラブル、IoT は急激に立ち上がり人類に大きな影響を及ぼすだろう。誰にでも大きなチャンスがある。ぜひこの分野を日本から立ち上げていきたい。</p> <p>聞いてほしい方:</p> <p>どなたでも</p>	

第 48 回 KOBE工学サミット 講演概要

講演題目	IoT が拓く超スマート社会
講演者	中村 匡秀
講演者略歴	平成 11 年 3 月 大阪大学大学院基礎工学研究科 博士後期課程修了 博士(工学)取得 平成 11 年 5 月～平成 12 年 3 月 カナダ・オタワ大学 School of Information Technology Engineering ポスドクフェロー 平成 12 年 4 月～平成 14 年 3 月 大阪大学サイバーメディアセンター 助手 平成 14 年 4 月～平成 19 年 3 月 奈良先端科学技術大学院大学 助手 平成 19 年 4 月～ 神戸大学 大学院工学システム情報学研究科 准教授 現在に至る.
研究分野	ソフトウェア工学, クラウド/サービスコンピューティング, スマートシステム
概要:	<p>IoT (モノのインターネット, Internet of Things)は, 実世界の様々なモノをインターネットに接続し, モノ同士がネットを通して連携して, 付加価値サービスを実現するシステム, および, 技術の総称です. 実世界のデバイスとクラウドの計算資源を連携することで, 実世界の情報収集やオペレーション, 過去・現在の状況の把握, 状況に応じた最適なオペレーション, AI・機械学習を用いた予測等が可能になります. これらを活用することで, わが国が抱える様々な課題を解決し, 必要なモノやサービスを必要な人に届け, 生き生き快適に暮らすことのできる社会「超スマート社会」の実現が期待されています. IoT は, 実世界のデバイスから, ネットワーク, プラットフォーム, アプリケーションまで, 様々な技術の統合によって実現される, 超大規模異種分散システムになります. 本講演では, IoT の基本的な構成やアーキテクチャを概説した後, 講演者の中村がこれまで行ってきた IoT 関連の研究を紹介します.</p>
アピールする点:	<p>社会のトレンドになっている研究であること 実際のシステム開発を伴う実践的な研究であること</p>
聞いてほしい方:	<p>スマートな技術に興味がある方全般 目的指向でシステムをとらえられる人</p>